

第三回

京都の 木の家 づくり

表彰作品集

—— ごあいさつ ——

京都で育った木で家を作る。

住む人にとっても、地域の森にとっても、私たちを取り巻く環境にとっても心地よい事です。

京都府産木材利用推進協議会は、京都府が制定した京都府産木材認証制度に基づき、京都府産木材を供給する「取扱事業者」「認証機関登録事業者」及び京都府産木材を使って建築に取り組む「緑の事業者」で組織する団体です。

協議会では、京都府産木材の推進に関する様々な事業に取り組んでいますが、令和元年度から、京都府産として認証された木材を使って建築された建物の表彰事業を行っています。

第3回目となる今回は、「環境にやさしい京都の木の家づくり支援事業」や「緑の木のまち拡大事業」、「ひろがる京の木整備事業（建物型）」など、京都府の交付金の交付対象となった建物等を対象に、応募推薦いただいた中から「木材利用」「建築技術」「京の木の文化」の面から厳正な審査を経て、優秀な建築17点を表彰することとなりました。

地域の森林で生産された木材を使って木造建築を進めることは、再生産可能な森林資源の循環利用に役立つとともに、地域の林業・木材産業が発展することにより、地域振興にもつながります。

さらに、近くの森林で育った木材を使うことは、はるばる遠くから運んでくることに比べ、輸送に伴う二酸化炭素の排出量も少なく、地球温暖化を防ぐ役割も果たしているといえます。

これからも京都府産木材の利用に皆様のご理解とご協力をお願いします。

主催 京都府産木材利用推進協議会

共催 京都府

後援 一般社団法人京都府建築士会／京都府建築工業協同組合／京都府森林組合連合会／
一般社団法人京都府木材組合連合会

目次

ごあいさつ		1
総評 審査委員長 高田光雄		3
最優秀賞・知事賞		
下安久の家（舞鶴市）	設計 TAG設計室 施工 株式会社舟越工務店	4
優秀賞		
H様邸新築工事（京都市左京区）	設計 株式会社竹内工務店一級建築士事務所 施工 株式会社竹内工務店	6
光が心地よい平屋の家（舞鶴市）	設計・施工 株式会社大滝工務店	8
審査委員特別賞		
MONO MONO CAFE（京都市中京区）	設計・施工 タクミ建設株式会社	10
Y様邸新築工事（京都市右京区）	施工 株式会社竹内工務店	12
奨励賞		
北大路の家（京都市北区）	設計・施工 アーキテクチャーリンクライフ株式会社	14
小上りのある家（京都市北区）	設計・施工 アーキテクチャーリンクライフ株式会社	15
K邸新築工事（京都市左京区）	設計・施工 株式会社住暮楽 一級建築士事務所	16
豊かな狭小住宅（京都市中京区）	設計・施工 アーキテクチャーリンクライフ株式会社	17
勾配天井の家（京都市伏見区）	設計・施工 アーキテクチャーリンクライフ株式会社	18
ハイブリッドソーラーハウス（京都市伏見区）	設計 有限会社夢創建築事務所 施工 株式会社三原工務店	19
自然素材と和モダンの家（舞鶴市）	設計・施工 株式会社坂根工務店	20
平屋でペットと暮らす家（舞鶴市）	設計 いずみ一級建築士事務所 施工 株式会社奥田工務店	21
南欧風外観で内装桧の家（舞鶴市）	設計・施工 株式会社林田工務店	22
七日市モデルハウス（舞鶴市）	設計・施工 ファイン・住宅株式会社	23
木の温もりとともに包まれ“本”とともに暮らす家（長岡京市）	設計 すずき建築設計事務所 施工 株式会社能見工務店	24
主婦が考えた理想の家（長岡京市）	設計 すずき建築設計事務所 施工 株式会社能見工務店	25
資料 令和3年度京都市補助事業「ひろがる京の木整備事業」チラシ		26
歴代上位受賞作品		28

各賞の掲載順は作品所在地の総務省市区町村コード順で、順位とは関係ありません。

—— 京都の木の家づくり表彰事業・総評 ——

令和元年度から、京都府産木材を使用した京都にふさわしい家づくりの優良事例を表彰し、広く紹介することにより、環境にやさしい京都府産木材の利用促進を図ることを目的として、「京都の木の家づくり表彰事業」が実施されてきた。この事業は、「環境にやさしい京都の木の家づくり支援事業」や「緑の木のまち拡大事業」、「ひろがる京の木整備事業（建物型）」など京都府の助成を受けて建築された建物（リフォームを含む）を対象としたものであり、本年も府内全域から多数の応募をいただいた。

木材関係、建築関係などの専門家7名による審査委員会において、木材利用、建築技術、京の木の文化（地域環境と生活文化）の三つの側面からなる審査基準に従って議論を進めた。木材関係の委員からは、京都府産木材の使用量、使い方（適材適所）、見せ方などについて、建築関係の委員からは、木の文化の解釈、内部空間と外部空間との関係、建築関係法令遵守への取り組み姿勢、技術的合理性、建築デザインのオリジナリティなどについて、多様な意見が出された。それらをふまえ、慎重に審議を重ねた結果、最優秀賞（京都府知事賞）1点、優秀賞2点、審査委員特別賞2点、奨励賞12点を選定した。

最優秀賞に選定された作品は、舞鶴市に立地する子育て家族のための木造住宅で、構造材は京都府産木材、外壁は押縁を付けた焼杉、内装は黄褐色や赤褐色の多様な材料の組み合わせという材料選定、子育て家族のニーズに的確に対応した平面計画などが高く評価された。優秀賞に選定された作品の1点は、二つの茶室を持つ京都府産木材による京都市の住宅で、全て大工の手刻みで仕上げられている。もう1点は、舞鶴市の平家住宅で、大きな開口とウッドデッキ、木を生かしたのびやかな内部空間などが評価された。審査委員特別賞に選定された2点は、京都府産木材を多用し、漆喰壁は施主のDIYにより仕上げられた京都市内の住宅と、京町家リノベーションやCLTの活用にチャレンジした京都市内の木造飲食店である。奨励賞に選定された12点は、いずれも、多様な地域特性に応じて設計、施工された木造住宅であり、京都府産木材の使い方や設計上の工夫などがそれぞれ評価された。

今後、京都府産木材をより一層上手く使いこなし、地域環境や生活文化など、京の木の文化を継承発展させる優れた建築が府内全域に浸透していくことを期待したい。

審査委員長 高田光雄

審査委員

委員長 高田光雄（京都美術工芸大学大学院研究科長・学部長・教授 / 京都大学名誉教授 / 一般社団法人京都府建築士会会長）

委員 木村忠紀（京都府建築工業協同組合相談役）
西田教子（一般社団法人京都府建築士会副会長）
森井一彦（京都府森林組合連合会代表理事専務）
愛甲政利（一般社団法人京都府木材組合連合会専務理事）
福本裕之（京都府農林水産部林業振興課参事）
堀井誠史（京都府産木材利用推進協議会会長）

最優秀賞・知事賞



下安久の家



舞鶴市
Maizuru City

京都府産木材使用量
13.9307㎡

子育て世代の家族が、木材の魅力を活かした快適な空間の中で、日々の生活をゆったりと心地良く暮らすための住宅です。

木材利用のポイントとして、外壁については、焼杉の上に押縁をつける事で表情が生まれ、海のある街の風景に溶け込み調和するのを心待ちにしています。

内装材については、床材はアピトン、造作材や建具材にはラワンやタモ、ピーラーを使用しています。

これらの木材は黄・赤褐色で木目がはっきりしておらず、個体差が大きいのが特徴では

ありますが、あえて組み合わせる事で、多少の色のバラつきやクセさえも愛おしく感じられ、日々の生活を包み込んでいます。

また、家具を大工工事で製作する事により、造作や建具等と仕上げの質感が揃い、空間に一体感が生まれています。

構造材については、京都の気候で育った木材で家を建てる事が最適であると考え、京都府内産のスギ・ヒノキを使用しました。

[設計]
TAG設計室
京都府舞鶴市下安久 970-2

[施工]
株式会社舟越工務店
京都府福知山市興木梨 8-2





H様邸 新築工事



京都市
Kyoto City

京都府産木材使用量
23.9011m³

岩倉の閑静な住宅街の中の茶室を持つ住宅です。

この住宅は、茶事をされることを主において設計し、建築された家です。

二つの茶室があり、躰口を備えた三畳の小間と表千家松風楼写しの八畳の広間を持ち、それらを結ぶところに水屋をしつらえています。

外部には腰掛待合、露地（茶事のための庭の露地、茶庭）もしつらえています。

茶事の時だけでなく、日常でも、四季を通じて、様々なお花や植物に囲まれ、ゆっくりとした時間を楽しめるお庭になっています。

この腰掛待合や玄関屋根等の柱、桁、垂木等には、北山丸太を使用しています。

もちろん茶室の床柱、落掛け、垂木にも北山磨き丸太を使い、数寄屋の文化を引き継いでいます。

全て手刻みで、大工の技が随所に見られる建物になっています。

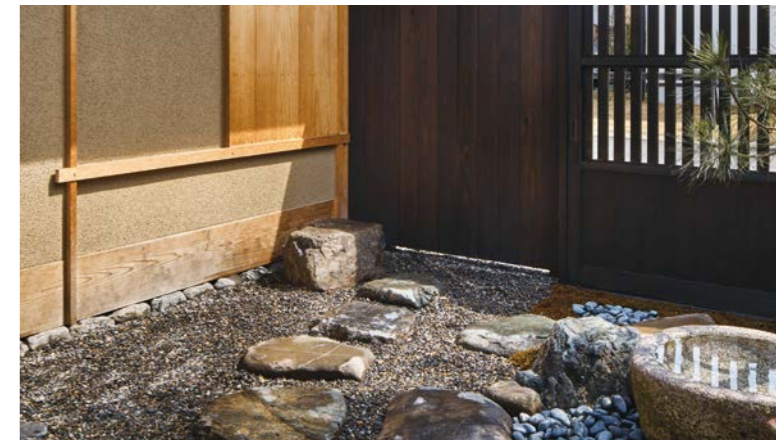
手水鉢は、お施主さまのご実家で使われていた、思い出のある石臼です。

植栽は松とナツメ、地面は苔（こけ）で覆われ、住宅地の中ですが、山の中にあるような落ち着いた雰囲気になっています。

スペースクリップ 岡田大次郎 撮影

〔設計〕
株式会社竹内工務店一級建築士事務所
京都府京都市右京区嵯峨釈迦堂門前瀬戸川町 4-7

〔施工〕
株式会社竹内工務店
京都府京都市右京区嵯峨釈迦堂門前瀬戸川町 4-7





光が心地よい 平屋の家



舞鶴市
Maizuru City

京都府産木材使用量
17.9789m³

「地域の暮らしの質を向上させる様な建築を」という想いで弊社のKAN,MA分譲地で企画設計を進めています。

エリア全体でデザインコードを作り、緑や樹木に囲まれた街区を実現するために道路側には積極的に植栽を設け、夜景の演出のために庭園灯によるライトアップも行っています。

住宅外観は屋根勾配や高さの制限を設けて街並みの連続性を保ちつつ、耐火性・耐久性に配慮しながら積極的に木を使用し街並みにアクセント与える様に設計しています。

内部空間のくつろぎスペースのリビング・

ダイニングは、のびやかな空間を覆すように登り梁と天井仕上げ材を杉でデザインしています。

木製大型開口部と半屋外空間のデッキにより中庭と室内を結び、日々の生活の中で季節を感じる、小さな喜びや身近な自然の豊かさを感じるデザインとしています。

住宅機能面では共働きの家族のため家事動線を一筆書きで動ける様に玄関→洗面室→洗濯室→ファミリークロゼット→個室とぐるぐると動き回れる設計にしています。

[設計・施工]

株式会社大滝工務店

京都府舞鶴市字南田辺 126-5





MONO MONO CAFE



京都市
Kyoto City

京都府産木材使用量
14.6455m³

事務所として使われていた既存京町家を、外観の京町家イメージや虫籠窓を残しつつ、飲食店として新たに生まれ変わるリノベーションを行いました。

京都府産材の活用場所は、既に見えなくなっている構造補強～軒下は勿論の事、全ての枠材や化粧仕上げ等、飲食店という事も少しでも個性のする仕上げを目指してみました。

例えば、北山杉の面皮と小丸太で造作した吹抜け手摺、変木をそのまま利用造作した階段手摺、テラス手摺壁にあえてCLT活用等。

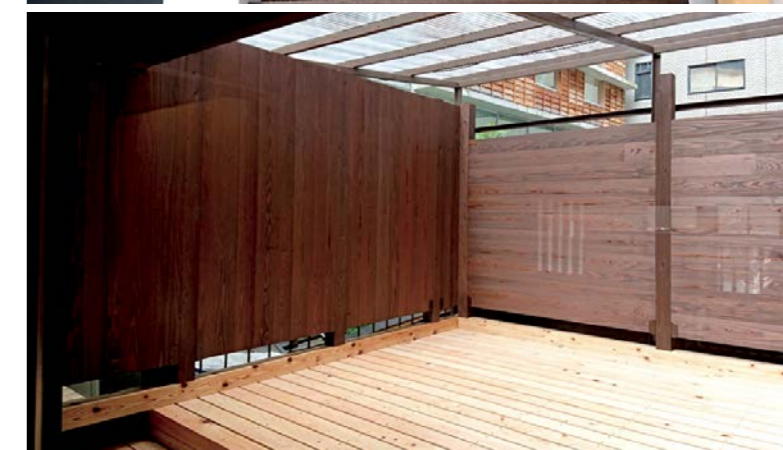
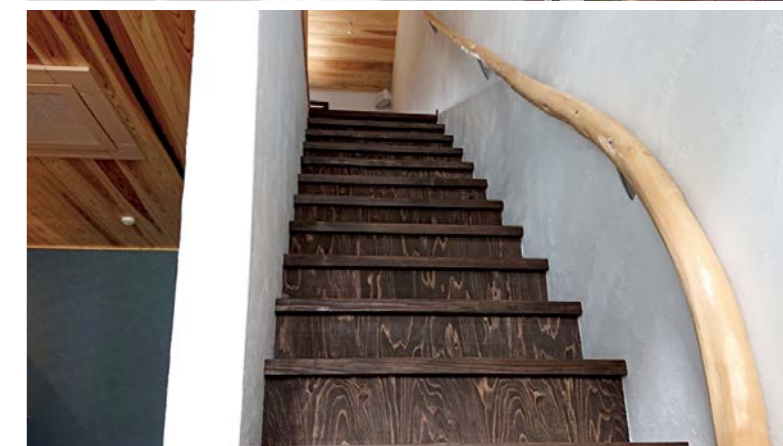
予め確認させて頂いた店内のメニューが、

とても女性ウケしそうなメニューでしたので、思わず女性でも触れたいような、メニューと一緒にインスタ映えしそうな店内になる様に、京都府産材の愛嬌と可愛らしさが見える仕上げにしてみました。

[設計・施工]

タクミ建設株式会社

京都府京都市山科区勤修寺東栗栖野町 18 番地 4





スペースクリップ 岡田大次郎 撮影

Y様邸 新築工事



京都市
Kyoto City

京都府産木材使用量
31.241㎡

仁和寺の近くの、緑豊かな住宅地に建つ住宅です。

外壁に焼き杉板を、屋根は平板瓦を使用し、素朴さとモダンさを併せ持つ外観です。

建物の主要構造材は、京都府産の木材を使用しています。

また、内装材も杉、桧を使用し、2階の天井は、勾配天井で杉の無垢材で仕上げています。

省エネルギー性に配慮し、太陽光発電とエネファームを採用しています。

建物内は無垢材（杉材）に包まれ、窓からの周囲の緑も相まって、森の中にいるような

清々しい空間になっています。

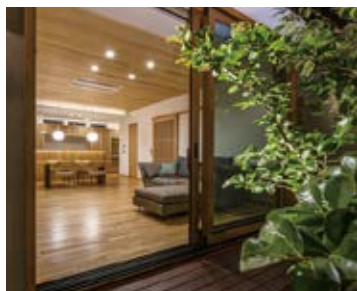
設計は施主ご自身がされ、内装の漆喰塗りはDIYで仕上げられました。

長年の夢が実現した素敵な住まいになりました。

[施工]
株式会社竹内工務店

京都府京都市右京区嵯峨釈迦堂門前瀬戸川町 4-7





北大路の家

京都府産木材使用量
22.3633 m³

[設計・施工]

アーキテクチャーリンク
ライフ株式会社

京都府京都市中京区下本能寺前町
522 本能寺会館 1 階*

* 本能寺会館建替え工事のため
仮店舗営業中
(仮店舗) 京都府京都市北区
上賀茂岩ヶ垣内町 98-2 戸田ビル 4 階

北大路の閑静な住宅地に建つ「北大路の家」は、共働きのK様ご夫婦が小学生のお子様とつしよに、手狭になったマンションからの住み替えで住宅会社を探しておられました。家づくりをどこから始めたらよいかわからないということでインターネットを通じてご来社いただいたのが2020年1月のこと。

これから成長するお子様のためにも落ち着いた住宅街で住みたいというご要望でした。

職業柄お忙しくされているので家事がしやすい動線。キッチン横には勉強コーナーを設けました。

土台柱は全て京都府産ヒノキ材を使用。

内装は、天井に桐の羽目板、家の中心でもあるキッチンにはオーク材と造作収納、床にも無垢ナラ材を使用しています。

弊社では床暖房の上にも無垢材を使用します。たとえ隙間ができたとしても、メンテナンスをしながら長く住み続けていただけます。

家族の愛着が醸成していく「北大路の家」が誕生しました。



小上りのある家

京都府産木材使用量
21.4188 m³

[設計・施工]

アーキテクチャーリンク
ライフ株式会社

京都府京都市中京区下本能寺前町
522 本能寺会館 1 階*

* 本能寺会館建替え工事のため
仮店舗営業中
(仮店舗) 京都府京都市北区
上賀茂岩ヶ垣内町 98-2 戸田ビル 4 階

T様ご家族が、家づくりを始めるにあたり一番実現したかったのは「小上りのある生活」でした。

ご家族5人の家族団欒や、家事の合間や食事が終わった後など、イ草の香りに包まれながらほっこり息つける畳の小上り空間は、T様ご家族にとって最高のくつろぎ空間となっています。

リビングの一壁面にはブラックタイルを貼り和モダンな色調で仕上げました。

キッチン背面収納は奥様のご要望を詳細に反映した弊社のオリジナル造作家具を設置、またキッチンに立ちながらお子様の勉強の様子が見られるよう、3人でもゆったり使える長いデスクを設置しました。

弊社の家では、構造材に京都府産材の芯持ヒノキやスギをふんだんに使用します。

寒暖差が大きい京都で快適な室内環境を実現するために、北海道基準の高気密高断熱工法を採用しております。

京都市北区にまた素敵な弊社の家が建ちました。



K邸 新築工事

京都府産木材使用量
6.35 m³

[設計・施工]

株式会社住暮楽
一級建築士事務所

京都府京都市北区西賀茂柿ノ木町 25

製作キッチンの天板に栗材を使用しました。

栗材はかつて建物の土台に用いられた程に水濡れに強い材であることから、こうした用途に適しており、表面には亜麻仁油をベースとするオイルを塗布することで水弾きを良くしています。

キッチン下部の脚部やバックカウンターの側板、引き出し材、棚板等には杉のJパネル(三層の積層材)やフィンガージョイントの無い柂目の集成板を使用しました。

こうした木質パネル材は反りや狂いが発生しにくく、家具製作に利用しやすく

なっています。

メイン階の2階床材に杉床板を使用しました。

30mm厚でしっかりとした踏みごたえと、独特の柔らかさと温かみ特徴で、また家具材としても使用しています。

Jパネルをロフト床材として利用しました。

2階を梁見せとすることでロフト床が2階天井の仕上げを兼ねています。



豊かな 狭小住宅

京都府産木材使用量
17.3 m³

[設計・施工]

アーキテクチャーリンク
ライフ株式会社

京都府京都市中京区下本能寺前町
522 本能寺会館 1階*

* 本能寺会館建替え工事のため
仮店舗営業中
(仮店舗) 京都府京都市北区
上賀茂岩ヶ垣内町 98-2 戸田ビル 4階

T様邸は中京区の住宅が密集している田の字エリア 1.8 坪に建てられた狭小住宅です。敷地の南には 3 階建ての住居がくっつくように建てられており、敷地面積は 4.8 m、奥行は 13.5 m。日中の明るさを確保することが一番の課題でした。

T様の家づくりのスタートは、弊社代表篠田が講師を務める京都新聞主催の家づくりセミナーにご来場いただいたのがきっかけでした。

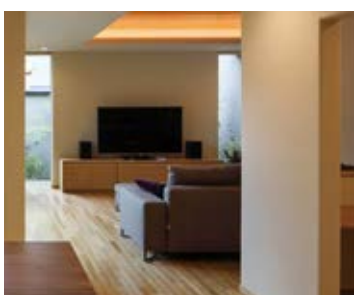
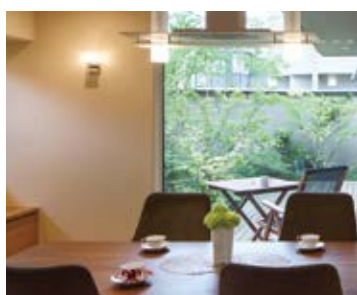
ご両親から受け継いだ生まれ育った住宅を建て替え、ゆったりとした毎日を楽しみたいというご要望でした。

プランでは 2 階をリビングとし屋根に天

窓を設置、自然光が階段を通過して 1 階の階段室や玄関ホールまでやさしく届きます。

立地条件に照らし合わせた上で、自然を感じられる空間づくりに配慮したデザインとなっております。

「四季を通じてストレスを感じることなく快適に過ごすことができます」と T様からお褒めの言葉をいただいております。



勾配天井の家

京都府産木材使用量
30.3774 m³

[設計・施工]

アーキテクチャーリンク
ライフ株式会社

京都府京都市中京区下本能寺前町
522 本能寺会館 1 階*

* 本能寺会館建替え工事のため
仮店舗営業中
(仮店舗) 京都市北区
上賀茂岩ヶ垣内町 98-2 戸田ビル 4 階

Y様邸の建つ敷地は、京都市伏見区桃山の閑静な住宅地にある角地です。

南・東・北が接道しており、明るさは容易に確保できる一方、選択肢が多いからこそ建物の核をどのように形成するかが課題となりましたが、南と東から光を採れる場所にL型の庭を取り、それを囲む形でLDKを配置しました。

LDKの天井やフローリングが、庭へとつづく軒天井やウッドデッキとつながり、内外の一体感を生んでいます。

また庭の地盤面をウッドデッキの高さまで嵩上げすることで、庭木が生活空間の一部として感じられるように工夫しています。

キッチンやTVボード、ダイニングのローボードや洗面台など、随所にこだわりの詰まった造作家具が据えられた住まいは、「人生の表現の場」としてY様の人生に寄り添ってくれるものと確信しています。



ハイブリッド ソーラーハウス

京都府産木材使用量
11.534 m³

[設計]

有限会社
夢創建築事務所
京都府京都市山科区上山久保町 57

[施工]

株式会社三原工務店
京都府京都市伏見区深草新門丈町
164-1

京都府産木材の杉、桧を中心に家を建てました。

香りも良く空気がおいしく疲れを癒してくれます。

京都府産木材を消費する事で林業に従事される方々の下ささえになり、ウッドマイレージ CO₂ 対策（木材運搬に係る CO₂ 排出量の抑制）に繋がる事も嬉しいです。

ハイブリッドソーラーハウス、太陽熱利用で 24 時間床暖房ができる住まい。リビング、キッチン、トイレ、洗面など、どこにいても家全体が暖かく、温度差がありません。

吹抜けを介して 2 階も暖かくなります。

秋から春まで室温 20℃ から 22℃ で快適に過ごせます。

家の中に温度差がないことで、ヒートショック、脳卒中の心配も少なく、ぜんそくやアトピー性皮膚炎、喉の痛みやせきも改善されたとのデータもあり、健康に過ごしていただけます。

家族のふれあいを大切にするリビング階段を提案し、自然と会話が弾む住まい造りを目指しています。

冬の太陽は低くキッチンまで陽が差し込みます。日光浴をしながら食事ができる、そんな住まいが完成しました。



自然素材と 和モダンの家

京都府産木材使用量
12.6089 m³

[設計・施工]

株式会社坂根工務店
京都府舞鶴市森 184 番地の 3

～四季を感じ自然を感じる家づくり～

春の柔らかな風を感じ、夏は軒の下で夕涼み、秋は庭の紅葉を愛で、冬は暖かな部屋で暖をとる。古来より日本の家は自然の力をうまく利用してきました。坂根工務店が建てるのは四季を感じながら自然の力を利用しつつ現代の住宅性能を併せ持つ家です。

～京都府内産の木材にこだわる～

「京都の家は京都で育った木で建てる」それが一番自然なのではないか!という思いからスタートした取り組みです。これが環境を守ることのお手伝いになり、地元

で育った安心できる木材を使い、住環境にも外環境にも良い家を作る。それが私たちの取り組みの一つです。

～技能の継承を行う～

坂根工務店の家を手掛けるのは、私たちの仕事を専属で請け負う熟練の大工集団です。

その熟練大工集団の技能を絶やすことのないよう、若手の大工を育成しています。熟練大工とともに仕事を重ね、ときに教えをいただきながら、一切の妥協がない家を作る。そんな大工を育て、技術を継承していくことが使命でもあると考えています。



平屋でペットと暮らす家

京都府産木材使用量
12.6077 m³

[設計]

いずみ一級建築士
事務所

京都府舞鶴市字行永 580-2

[施工]

株式会社奥田工務店

京都府舞鶴市大波下 859-1

夫婦 2 人と愛犬とでゆったりと暮らす平屋の家を計画しました。

山の近くの敷地状況からリビングの形を三角に切り取りました。

山の緑と空の景色が楽しめるような配置としています。

主要構造材に京都府産木材を使用しています。玄関、リビング天井には無節のヒノキの板を張っています。ヒノキ板のラインを通して広くすっきりと見えるよう工夫しました。

床は愛犬に優しいペット対応フローリングでグリップが効き滑りにくい仕様です。

温水式床暖房で足元も優しい温もりが

あります。

裏庭にはドッグランとウッドデッキを設けて天気の良い時は愛犬の遊び場に。

この家に住む人の事を第一に考えた家づくりを心がけました。



南欧風外観で 内装桧の家

京都府産木材使用量
13.0158 m³

[設計・施工]

株式会社林田工務店
京都府舞鶴市字倉谷小字北ノ坪 1743

お施主様のお好みで南欧風の外観の家ですが、構造躯体やフローリングには京都府産木材を使用しました。

当初はフローリングはパイン材のイメージをお持ちのようでしたが、実例をお見せしたり説明する中で地元の気候で育った木材を使用することになりました。

玄関を開けるとホールの京都府産桧框とフローリングの香りがし、LDKに入ってもそれが続きます。

LDKは半現し梁としたことにより天井高を確保し、部屋のアクセントにもなっています。

チェッカーガラスの入った室内建具や

キッチンのアクセント壁とのバランスも良いです！

またダイニングのカウンターテーブルは桧の一枚板で作製した、世界で1つのカウンターです。

道路に面して全面土間コンクリートとし、駐車場だけでなくスケートボードパークとしても使用されています。



七日市 モデルハウス

京都府産木材使用量
24.769 m³

[設計・施工]

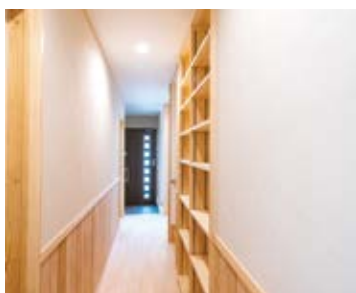
ファイン・住宅株式会社
京都府舞鶴市字福来 112 番地

木の温もりを感じられる様、1・2階の床には無垢の床板を使用し、構造材、内装材、下地材には京都府産の木材を積極的に使用しました。

リビングの天井は大きな吹抜けで、2階にいても家族の声が聞こえ、いつでも顔を合わせられ、リビングから一步出るとゆったりとくつろげる広いテラスがあり、家族がおうち時間を快適に過ごせる家を創りました。

また、壁には自然環境と健康に配慮された塗り壁材を使用し、24時間全熱交換型換気システムを導入して、ウイルスやハウスダストをすばやく排気し健康的

な室内空間づくりをしています。



木の温もりとともに 包まれ“本”と ともに暮らす家

京都府産木材使用量
21.5941 m³

[設計]

すずぎ建築設計事務所
大阪府高槻市土室町 53 番 11 号

[施工]

株式会社能見工務店
京都府京都市西京区大原野上里男鹿
町 1 番地 5

本棚が沢山欲しい、家具は置きたくない、ランドリールームが欲しい、木の家がいい。施主様のこんな要望を実現したのが今回の家です。

構造躯体は自然乾燥の様な体温と同じ温度で乾燥させた京都府産の檜を使用しました。木の細胞が生きたまま保たれるので、内部割れを生じません。骨組みは総檜づくりで、小屋梁には松の丸太梁を使用しました。

次世代に技術継承するため、墨付けと刻みで建てました。木組みは職人の手で刻み、収納家具もすべて弊社の大工が造作しました。

本棚は壁と一体化させ、圧迫感のない空間を演出しています。フローリングや腰板はあえて塗装せず、木の長所を生かしています。キッチンと洗面室・ランドリールームを直線で繋げ、洗濯が楽に出来るようにしました。無垢のフローリング、天井と腰板にも木を張り、壁は珪藻土でとても落ち着く居心地の良い空間ができました。

京都の木材と最先端の建築技術を融合させた家づくりを心掛けました。家の中に居ながらも京都の木に囲まれて森の中にいる様な「ホッ」とする、そんな空間を作りました。木のある生活、木に囲まれた生活が、気持ちの豊かな暮らしに繋がります。



主婦が考えた理想の家

京都府産木材使用量
14.7083 m³

[設計]

すずぎ建築設計事務所
大阪府高槻市土室町 53 番 11 号

[施工]

株式会社能見工務店
京都府京都市西京区大原野上里男鹿町 1 番地 5

土台や柱などは京都府産の檜を使用し、横架材や母屋には杉を使用しました。玄関まわりの外壁は焼杉板でアクセントにし、格子を施し和の雰囲気を出しました。

洋間の天井と吹き抜けの天井に杉板を使用し、床は1階に杉を、2階には桜を使い、木に囲まれた安心感を演出しています。

伝統技術を継承するため、墨付けと刻みで建てました。見習い3年生が墨付けを行い、全て確認した後に刻んだため少し工期がかりました。桧の丸太梁はちょうどなで所り、時の経過とともに古民家のようになっていきます。壁は珪藻土を施し室内の空気環境にも配慮しました。

最先端の建築技術と京都の木の文化に基づく伝統技術を融合させ、自然を感じるエコな暮らしをめざしました。家の中でも森の中の様に「ホッ」とする。木に囲まれた生活は、心豊かな暮らしに繋がります。

間取りや収納は経験豊かな主婦のアドバイスを多数取り入れ、敷地は狭小でも心地いい風と光が入る開放感のある空間にしました。また、将来は“新婚の家”“子育ての家”“老後の家”に容易に間取りが変えられ、永く暮らせる家になりました。家族のため多くの時間をさいている主婦の想いが詰まった、世代を超えて住める家を実現できました。



Photo by Satoshi Shigetā



ひろがる京の木整備事業
(住宅タイプ)



Photo by Daijiro Okada

補助金の概要

住宅の新築、増改築、修繕、内装工事における京都府産木材(※)、北山丸太、京銘竹の利用を支援します。

※ 京都府産木材とは、京都府産木材認証制度に基づき、認証機関(一社)京都府木材組合連合会がウッドマイレージCO₂京都の木認証書を発行した木材(「ウッドマイレージCO₂京都の木認証」木材)又は京都の木証明書を発行した木材(「京都の木証明」木材)です。

交付対象者

- ・緑の工務店(府に緑の事業体の登録が必要(京都市内・府外問わず登録可能))
 - ・特定事業者(建設業許可を有しない事業者が、建設業許可が不要な工事を行う場合)
- 条件:木材の加工流通業者と京都府産木材の購入について連携(ジョイント)を行っていること

交付対象建築物

- ・京都市内・府外の住宅
- 条件:建築等の工事期間中に京都府産木材のPRを行っていること

補助率等

- ・京都府産木材、北山丸太製品、京銘竹製品の購入費に補助率を乗じた額の合計

対象木材	補助率(補助金の上限)
「京都の木証明」木材(※1)	10%(上限6万円/m ³)
「ウッドマイレージCO ₂ 京都の木認証」木材(※2)	15%(上限9万円/m ³)
北山丸太製品、京銘竹製品	50%(上限4万円)

※1 「京都の木証明」木材の条件

京都府産木材の生産・加工・流通の全てを、取扱事業者又は認証機関登録事業者が行っていること

※2 「ウッドマイレージCO₂京都の木認証」木材の条件

京都府産木材の生産・加工・流通の全てを、取扱事業者が行っていること

取扱事業者

京都府産木材の生産、加工、又は流通を行う府内の事業者(府が認定)

認証機関登録事業者

京都府産木材の生産、加工、又は流通を行う府外の事業者(認証機関が認定登録)

お申し込み

- ・建築物の所在地が府内の場合は、管轄する京都府広域振興局(京都市、長岡京市、向日市、大山崎町の場合は京都府京都林務事務所)に申込書を提出してください。
 - ・建築物の所在地が府外の場合は、京都府農林水産部林業振興課に申込書を提出してください。
- 交付申請は、申込書(変更申込書を含む)を受け付けた日から2ヶ月を経過した日以降で、京都府産木材に係る工事完了後1年以内。

令和3年度事業の受付期間

【申込書受付】

令和3年6月1日～12月28日

令和4年2月1日～3月末日

【交付申請書受付】

令和3年8月1日～令和4年2月末日

予算の都合により、期間内でも受付を終了する場合がありますのでご注意ください

事業の詳細・様式

事業の詳細、様式のダウンロードは府ホームページまで

ひろがる京の木整備事業 住宅タイプ 検索



京都府丹後広域振興局 (0772-62-4306)
京都府南丹広域振興局 (0771-22-1017)
京都府京都林務事務所 (075-451-5724)

京都府中丹広域振興局 (0773-62-2586)
京都府山城広域振興局 (0774-21-3450)
京都府農林水産部林業振興課 (075-414-5011)

京都府では京都府産木材[※]を使用した民間建築物の木造化又は木質化する工事を支援しています

※ 京都府産木材とは、京都府産木材認証制度に基づき、ウッドマイレージCO₂京都の木認証書又は京都の木証明書が発行された木材です



ひろがる京の木整備事業（非住宅タイプ）



補助金の概要

京都府産木材(※)を使用した商業施設や福祉施設等の住宅以外の民間建築物を木造化又は木質化する工事(新築・増築・改築・修繕・模様替)を支援します。

※ 京都府産木材とは、京都府産木材認証制度に基づき、ウッドマイレージCO₂京都の木認証書又は京都の木証明書が発行された木材です。

交付対象者

- ・京都府産木材を使用した住宅以外の民間建築物の木造化又は木質化工事をしようとしている者(施主)

交付対象建築物

- ・京都府内・府外の京都府産木材を使用した住宅以外の民間建築物
- 【条件】・工事施工者が木材の加工流通業者と京都府産木材の購入について連携(ジョイント)して整備したもの
- ・工事中の標識設置やホームページへの掲載等で京都府産木材を使用したことをPRしていること

補助率等

- ・京都府産木材の購入費に補助率を乗じた額の合計(1申請当たりの補助金の合計額は1,000万円が上限)

対象木材	補助率（1㎡当たりの補助金の上限）
「京都の木証明」木材(※1)	20%以内（1㎡当たりの補助金額は上限60万円）
「ウッドマイレージCO ₂ 京都の木認証」木材(※2)	30%以内（1㎡当たりの補助金額は上限90万円）

認証機関(一般社団法人京都府木材組合連合会)による証明書等が必要です。

※1 「京都の木証明」木材の条件

京都府産木材の生産・加工・流通の全てを、取扱事業者又は認証機関登録事業者が行っていること

※2 「ウッドマイレージCO₂京都の木認証」木材の条件

京都府産木材の生産・加工・流通の全てを、取扱事業者が行っていること

取扱事業者

京都府産木材の生産、加工、又は流通を行う府内の事業者(府が認定)

認証機関登録事業者

京都府産木材の生産、加工、又は流通を行う府外の事業者(認証機関が認定登録)

お申し込み

- ・建築物の所在地が府内の場合は、管轄する京都府広域振興局(京都市、長岡京市、向日市、大山崎町の場合は京都府京都林務事務所)に申込書を提出してください。
- ・建築物の所在地が府外の場合は、京都府農林水産部林業振興課に申込書を提出してください。

交付申請は、申込書(変更申込書を含む)を受け付けた日から2ヶ月を経過した日以降で、京都府産木材に係る工事完了後1年以内又は申込をした翌年度の2月末日のどちらか短い期日まで。

令和3年度の受付期間

【申込書受付】

令和3年8月10日～12月28日

令和4年2月1日～3月末日

【交付申請書受付】

令和3年10月10日～令和4年2月末日

【予算の都合により、期間内でも受付を終了する場合がありますのでご注意ください】

事業の詳細・様式

事業の詳細、様式のダウンロードは府ホームページまで



ひろがる京の木整備事業 非住宅タイプ 検索



京都府丹後広域振興局 (0772-62-4306)
京都府南丹広域振興局 (0771-22-1017)
京都府京都林務事務所 (075-451-5724)

京都府中丹広域振興局 (0773-62-2586)
京都府山城広域振興局 (0774-21-3450)
京都府農林水産部林業振興課 (075-414-5011)

【注意】令和3年度の受付は終了しています

詳しくは京都府各振興局へお問い合わせをお願いします

第一回 受賞作品



最優秀賞・知事賞 SEIS・シネマカフェ
設計 / 半海宏一建築設計事務所 施工 / 株式会社大村工務店



優秀賞 T邸新築工事
設計 / 株式会社住暮楽一級建築士事務所
施工 / 株式会社住暮楽



優秀賞 K邸新築工事
設計・施工 / 株式会社竹内工務店

第二回 受賞作品



最優秀賞・知事賞 KAN, MA
設計 / 横内敏人建築設計事務所 施工 / 株式会社大滝工務店



優秀賞 石貼りのモダン住宅
設計・施工 /
アーキテクチャーリンクライフ株式会社



優秀賞 宮津の住宅
設計 / 一級建築士事務所 森吉直剛アトリエ
施工 / 株式会社大村工務店

この冊子は京都府補助事業「令和3年度ひろがる京の木整備事業」（京都府豊かな森を育てる府民税活用事業）により京都府産木材利用の普及啓発を図る目的で作成しました。



下安久の家



光が心地よい平屋の家



K 邸新築工事

不許複製・禁無断転載

[編集発行]

京都府産木材利用推進協議会

(事務局：(一社) 京都府木材組合連合会)

令和4年3月発行



主婦が考えた理想の家